



ひがしそのが

# 議会だより

第 157 号



平成29年 3 月17日 統合後初の彼杵小学校卒業式

## 3 月定例会

平成29年度当初予算 ..... 2 ページ

町政を問う！ 8 人が一般質問 ..... 3 ～ 7 ページ

条例の制定・改正 ..... 8 ページ

まちづくり支援交付金関係 ..... 9 ページ

議会活動報告 ..... 10 ページ

【町長・まちづくり課長】町内全世帯が光ケーブル接続が可能になる。総事業費は3億6千万円で町負担は2億2千万円である。2月末で光ケーブル接続可能世帯の内30%の280軒が宅内工事をさる。其のうち15軒が光ボックスの設置申請をされている。

【町長・まちづくり課長】町内には公的監視カメラが一台もないので、検討する必要があると考える。

【町長・まちづくり課長】町内には公的監視カメラが一台もないので、検討する必要があると考える。

【町長・まちづくり課長】町内には公的監視カメラが一台もないので、検討する必要があると考える。

【町長・建設課長】転落防止柵の延長は要望があつたが、地区の意見がまとまっていけないので、保留中である。

【町長・建設課長】転落防止柵の延長は要望があつたが、地区の意見がまとまっていけないので、保留中である。

【町長】今のところ考えていないが、今後、検討をしていきたい。

【町長】今のところ考えていないが、今後、検討をしていきたい。

【町長】今のところ考えていないが、今後、検討をしていきたい。

【町長】今のところ考えていないが、今後、検討をしていきたい。

【町長】今のところ考えていないが、今後、検討をしていきたい。

【町長】今のところ考えていないが、今後、検討をしていきたい。

吉永 秀俊 議員



## 一般質問

(本稿は質問者の責任で作成しています)

【議員】現在のオフトゥクサービスは、来年3月で終了し、その後の町民への情報伝達手段としては、光ケーブルと光ボックスの接続で可能になる「スマートテレビ」を利用した「茶こちゃんねる」を4月から開設するそうだが、事業費と現在の接続率などはどうなっているのか。

【議員】費用が掛かると思うが検討したい。

【議員】防犯や安心安全対策として、千綿駅・彼杵駅や町内小中学校の死角場所に監視カメラを設置して、役場で見られるようなアプリの採用は考えていないのか。

【議員】光ケーブル敷設により家庭や役場で各学校の授業や議会・各種会議が見られるようにできるが、このような計画はあるのか。

【議員】費用が掛かると思うが検討したい。

【議員】光ケーブル敷設により家庭や役場で各学校の授業や議会・各種会議が見られるようにできるが、このような計画はあるのか。

【議員】費用が掛かると思うが検討したい。

【議員】防犯や安心安全対策として、千綿駅・彼杵駅や町内小中学校の死角場所に監視カメラを設置して、役場で見られるようなアプリの採用は考えていないのか。

【議員】光ケーブル敷設により家庭や役場で各学校の授業や議会・各種会議が見られるようにできるが、このような計画はあるのか。

【議員】費用が掛かると思うが検討したい。

# 平成29年度当初予算可決

(千円)

| 会計別             | 歳入        |           | 歳出        |           | 増減額      |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|
|                 | 29年度      | 28年度      | 29年度      | 28年度      |          |
| 一般会計            | 4,882,000 | 5,118,000 | 4,882,000 | 5,118,000 | △236,000 |
| 公共用地等取得造成事業特別会計 | 338       | 527       | 338       | 527       | △189     |
| 国民健康保険事業特別会計    | 1,530,800 | 1,528,800 | 1,530,800 | 1,528,800 | 2,000    |
| 介護保険事業特別会計      | 905,000   | 897,000   | 905,000   | 897,000   | 8,000    |
| 後期高齢者医療特別会計     | 103,500   | 99,000    | 103,500   | 99,000    | 4,500    |
| 農業集落排水事業特別会計    | 41,000    | 41,000    | 41,000    | 41,000    | 0        |
| 漁業集落排水事業特別会計    | 8,700     | 10,100    | 8,700     | 10,100    | △1,400   |
| 公共下水道事業特別会計     | 339,950   | 325,600   | 339,950   | 325,600   | 14,350   |
| 水道事業会計          | 273,176   |           | 238,888   |           |          |

(水道事業会計は今年度より一般企業会計に準じた複式簿記形式となった)

# 平成28年度補正予算可決

## 28年度一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出にそれぞれ125,642千円を減額し、総額をそれぞれ5,250,685千円とするもの。  
今回の補正は歳出では決算見込みによる減額が主である。  
歳入では普通交付税499千円の追加や各科目の減額である。

## 28年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出にそれぞれ28,221千円を減額し、総額をそれぞれ1,512,732千円とするもの。  
歳出では後期高齢者支援金、介護納付金、共同事業拠出金、確定により減額。  
療養給付費負担金前年度返還金を追加計上された。

## 28年度簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出にそれぞれ4,433千円を減額し、総額をそれぞれ681,345円とするもの。  
歳出では財政調整基金等24,117千円を追加し、建設改良費14,400千円、統合簡易水道事業費4,500千円、彼杵簡易水道基幹改良事業5,800千円、千綿簡易水道基幹改良事業費1,100千円、太の浦簡易水道基幹改良事業2,750千円を見込みにより減額された。



立山 裕次 議員

移住・定住に向けた現在の成果と課題、また、今後の対応策は

【議員】28年度、持ち家奨励金制度を使われた全件数とU・Iターンの方の件数は。

【町長】全件数は6件で、内訳はUターン4件・Iターン2件です。

【議員】町内在住の方の活用はなかったのか。

【町長】ありませんでした。

【議員】町内在住の方の活用がないのは、持ち家奨励金制度に魅力がないのではないのか。定住(東彼杵町に家を建て、今後住みたい。)を考えた時に、町内在住の方への助成金を増やす考えはないか。

【町長】今のところ考えていないが、今後、検討をしていきたい。



東彼杵町の英語教育の現状と今後の進め方は

【議員】文部科学省では平成29年度までに中学卒業時に英検3級程度50%を目指しています。国の調査によると、全国平均では約37%ですが、

【議員】今後、更なる英語力の強化の為の方策等は考えているのか。

【議員】「英語の飛び交う町」を目指して、昨年に引き続き大人から子供まで参加できる「英語でしゃべらナイト」を月に1回程度行う予定です。また、こちらも昨年同様、県内のA.L.T.に来て頂いて、ゲームやスポーツを通して英語に親しんでもらおうと考えています。

【議員】英検の受験率が15%程度という事ですが、受験料を町で補助したらもっと増えるのではないのか。

【教育長】そうしてもらえば、受験意欲がわくと思うので財政的に大丈夫ならお願いしたい。

【議員】財政的な話が出ましたが、ふるさと応援寄付金が活用できるのではないか。

【財政管財課長】活用できます。

【議員】どぶろく特区の製造、販売許可を受けて本町のPRや地産地消の推進、米の消費拡大など町づくりに貢献すると考えるが。

【町長】やりたいと思っていたが、やる人がいないから出来ないだろう。



【議員】就農者が高齢化に向かう中、食を支える農業を衰退させないために、地域の特性や生産者のこだわりを活かした農業の実現で所得向上をどのように目指すのか。

【議員】コメの生産調整（減反）廃止に伴うコメ政策の転換と耕作放棄地解消への具体的な取り組みは。

【町長】農業者の所得向上に向けては、規模拡大や品質向上、生産経費の低減や流通・販売対策まで含めたシステム構築が重要である。

本町には道の駅での直売所や生産農家が直に販売にも携わり、自販やネット通販などの展開も行われている。

平成30年から国のコメ生産数量（面積）目標の

## 耕作放棄地等の対策は

岡田伊一郎 議員



配分が廃止されるが、コメに代わる作目の転換も必要であり、地域振興作目として、イチゴ、アスパラガス、抑制力ボチャ等の拡大を図る。

町の耕作放棄地は平成28年の調査では約421haあるが、そのうち60haは再生利用可能な農地である。

解消策としては永年性の作目を推奨し、ハゼ、オリブ、ブルーベリー等の苗木への助成等を実施する。

また、繁殖牛の放牧による解消も図っている。

今後とも担い手への農地集積を図り、基盤整備事業の活用も図る必要がある。

## 学習指導要領の改定は

【議員】小学校3年生から6年生の授業時間が増えることで、夏休みや冬休みを減らすか土曜授業の実施などが選択肢の中にあげられている。

2020年度からは5年生と6年生で英語が教科化され、3年生と4年生で外国語活動が導入されることに伴い、授業は週1こま増えるが、児童の集中力の持続や教職員の自己研鑽の確保と支援については。

【教育長】千綿小は時間割を午前中、国語と算数、午後は体育と音楽に切り替える。

彼杵小はすでに午前中5時間授業を実施している。

【議員】道徳について、心の内面の評価は。

【教育長】数値の評価はしない。

【議員】他国の人々や文化を理解するための時間にもなるのか。

【教育長】そのとおりである。

口木 俊二 議員



## 旧音琴小学校と旧大楠小学校の今後の維持管理と閉校記念碑の移設は

【議員】29年度の維持管理はどのように考えておられるのか。

【町長】基本的には維持管理は町がします。

地域の方の協力を得ながら進めていきたい。

【議員】校舎も含めてどのような管理を考えているのか。

【財政管財課長】維持管理費は本来昨年の4月にあげるべきだった。管理としては校舎で2回清掃をする。プールは夏場に1回水の入替えをするように考えている。

【議員】閉校記念碑で大楠地区では閉校部会で移設しているが、音琴地区ではやっとなら移設できるようになったが、遅れた理由を。

【議員】審査会による現地調査を「原則として現地調査を行うものとする」という文言に規則を改正される考えはないか。

【町長】現地調査については、現行規則通り、「必要に応じて補助事業等の遂行状況を実地に調査できる」という文言は、現行規則のままで変更する考えはない。

【議員】町の規則には、団体の構成員に町外の方は、認められていないが。

【町長】手を挙げる人が、町内には少ない。町外の方でもいいんじゃないかと協議して、認めている。

町外の方に「補助金を交付している」というような意見を聞いているが、非常に残念である。

【議員】営利目的がからむ事業が補助金交付対象事業となり得るのか。

【町長】儲かってもらって、税金を納めてもらうのが、町づくりのシステムです。町づくりの基本です。稼がねばなりません。ボランティアでは出

【議員】規則には、公益的なまちづくり活動に対する事と定めてあるが。

【町長】起業して、儲かるのが営利は良いんです。儲かって、税金を払う。これは、正に公益性ですよ。ちやぶ台三葉及びソリソリソも一緒にです。

【議員】規則には、ハード事業の工事に「既存施設の維持、改修費を除く」と定めてあるが、倉庫改修に補助金を交付しても規則に抵触しないのか。

【議員】単なる維持管理はダメというところを方をしています。倉庫も町の活性化を図る為の改修は、認めております。

【議員】調査の結果、問題点はなかったとされているが、いつ、誰が調査されたのか。

【町長】昨年12月16日から26日にかけて町民課長と財政管財課長が、又12月28日に税務課長とまちづくり課長が調査しております。私も調査しております。



【議員】バイパス計画があるが町長はどのような考えか。

【町長】今の段階ではバイパスは無理だと思う。朝と夕方に車線変更できる1.5車線化に出来たらそれが望ましいと思っている。

【議員】蔵本の妙見から口木田に抜ける構造改善の道に離合場所の設置が出来ないものか。

【町長】現地を見ながら検討したい。

橋村 孝彦 議員



## どぶろく特区を作ろう

【議員】どぶろく特区の製造、販売許可を受けて本町のPRや地産地消の推進、米の消費拡大など町づくりに貢献すると考えるが。

【町長】やりたいと思っていたが、やる人がいないから出来ないだろう。



ここにこはうす校庭



彼杵小学校校庭

## 児童保育にこにこはうす校庭を芝生化しよう

【議員】彼杵小学校はすでに芝生化され好評である。子供たちが裸足である教育環境は心身の発達に好影響を与えるだろう、学校に限らず学校外、特に集団で集う場においての環境整備は必要であろう。

児童保育にこにこはうす校庭を芝生化する考えはないか。

大石 俊郎 議員



## お試し住宅（里郷）かや葺きから突如、鋼板葺き屋根に

【議員】整備設計の契約が競争入札になっっているが。

【町長】今回は、古民家再生であり、経験のある業者がおられなかった。経験豊富な、かや葺き屋根のデザインに長けた波佐見町の業者と随意契約をした。

【議員】昨年9月議会の「かや葺き屋根では、将来のコストがかかる」の質問に対し、「かや葺き屋根でない」と、一流の田舎の家にふさわしくない」との担当課長の説明であったが。

【町長】議会での説明と違った。維持管理費が高くなるので、鋼板葺きの屋根に変えた。（議会への説明もなく、変更されていた）

## 町長、町の規則、条例、交付要綱を否定するかのような発言連発

【議員】審査会による現地調査を「原則として現地調査を行うものとする」という文言に規則を改正される考えはないか。

【町長】現地調査については、現行規則通り、「必要に応じて補助事業等の遂行状況を実地に調査できる」という文言は、現行規則のままで変更する考えはない。

【議員】町の規則には、団体の構成員に町外の方は、認められていないが。

【町長】手を挙げる人が、町内には少ない。町外の方でもいいんじゃないかと協議して、認めている。

町外の方に「補助金を交付している」というような意見を聞いているが、非常に残念である。

【議員】営利目的がからむ事業が補助金交付対象事業となり得るのか。

【町長】儲かってもらって、税金を納めてもらうのが、町づくりのシステムです。町づくりの基本です。稼がねばなりません。ボランティアでは出



【議員】規則には、公益的なまちづくり活動に対する事と定めてあるが。

【町長】起業して、儲かるのが営利は良いんです。儲かって、税金を払う。これは、正に公益性ですよ。ちやぶ台三葉及びソリソリソも一緒にです。

【議員】規則には、ハード事業の工事に「既存施設の維持、改修費を除く」と定めてあるが、倉庫改修に補助金を交付しても規則に抵触しないのか。

【議員】単なる維持管理はダメというところを方をしています。倉庫も町の活性化を図る為の改修は、認めております。

【議員】調査の結果、問題点はなかったとされているが、いつ、誰が調査されたのか。

【町長】昨年12月16日から26日にかけて町民課長と財政管財課長が、又12月28日に税務課長とまちづくり課長が調査しております。私も調査しております。

浪瀬 真吾 議員

**施政方針に対する質問**

【議員】T型集落点検の結果と、それを踏まえた取り組みの中で、3箇所予算計上なしで計画されているが、どこの地区を検討されているか。

【町長】報告を見て対応するようにしており、東宿、大音琴、木場など大きい所を検討している。

【議員】地域のリーダー人材育成の中で、色々なサークルの連合会組織的なものがないか。

【町長】月に一回ぐらい集まり、意見が言える組織を作りたい。

【議員】光ブロードバンド整備の中で、特に高齢者の方はテレビ画面のボタンを扱い方さえよくわからないのが現状だと思うが、その対策は。

【町長】オフトークがな



くなるので訓練をしてもらわなければならない。緊急放送の場合は、FM放送でいく。時代に馴れてもらうしかない。

【議員】第71回全国お茶まつり大会に向けた取り組みと、他の農林水産業の取り組みは。

【町長】研修工場等も作り大会の入賞を目指している。農業が魅力あるものになるよう支援する。

【議員】農産物の集荷・販売システムの確立とあるが、具体的に。

【町長】町は、直接やっではない。株式会社彼杵の庄やすてつぶあつぶが、道の駅に出荷される農産物等を集荷される予定で側面から支援したい。

【議員】子ども達を安心して産み育てることのできる環境づくりの中で、一定期間中の支援策や東彼杵3町での病児保育施設の誘致は出来ないか。

【町長】病児保育施設が、東彼杵町に出来ないか、長崎大学に向き誘致のお願いをしている。

【議員】大野原高原線及び中尾本線並びにその他の道路整備は。

【町長】大野原高原線は、

29年度用地取得を計画しており、集団墓地もあるので丁寧の説明しながら理解を得たい。中尾本線は、早めに交渉を開始したい。木場本線は、現道に繋ぐ検討を早めにした。中岳幹線、赤木幹線、彼杵中学校前から港湾に通じる道路は、財源が許せば早めにかかりたい。

【議員】中学校の統廃合は、将来を担う子ども達のために、のぞましい教育環境の実現に向け取り組みとあるが具体的に。

【町長】保護者のアンケート調査が終わって教育長を中心に対策会議を4回している。4月から5月にかけて千綿中・彼杵中校区ごとに中学校の統合を考える意見交換会を開催予定である。新彼杵小学校の実績も参考にしながら着実に推進したい。

【議員】職員自身が変わり行動し、知恵を出していくことを目指すとあるがその方策は。

【町長】職員自身が意識改革をし、何をすべきか考えるべき。職員への指導が上手くいっていないことが多々ある。



彼杵中学校



千綿中学校

## 人事案件 賛成多数で同意されました。

### 東彼杵町監査委員

氏名 滝川 キミ江（三根郷）

（敬称略）

森 敏則 議員

**少子化対策は子育て支援が効果的**

【議員】来年度から未就学児から中学生までの医療費の無料化と、出産祝金の倍額が計上された。次世代を担う子どもを産み育てる保護者への支援が少子化対策に効果があると考え、町長の所見を伺う。

【町長】財源の許す範囲内で、制度改正に取り組みます。

【議員】来年度（平成29年4月）から、出生祝金は、第2子までが10万円、第3子以降が20万円と倍額されましたが、子育て環境の整備は他市町村と比べれば十分とは言えない。

少子高齢化の中で、効果的な政策として※別表にあるような政策は考え



少子化対策は出産祝い金の改正が効果的

|     | 平成28年度まで<br>3月31日まで誕生 | 平成29年度から<br>4月1日から誕生 | ※森議員の<br>少子化対策の提案 |
|-----|-----------------------|----------------------|-------------------|
| 第1子 | 5万円                   | 10万円                 | 10万円              |
| 第2子 | 5万円                   | 10万円                 | 20万円              |
| 第3子 | 10万円                  | 20万円                 | 30万円              |
| 第4子 | 10万円                  | 20万円                 | 40万円              |
| 第5子 | 10万円                  | 20万円                 | 50万円              |

【町長】検討します。

上で、最も考慮する点と配慮する点を伺う。

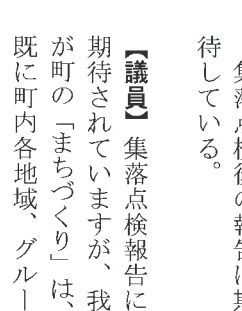
【町長】基本は町民主体とした姿勢で、役場の人づくりが第一歩と考えている。

人材育成は、時間をかけて、個人の長所を活かす教育で自信をつけさせることが重要である。最も説得力があるのは、管理職が模範（背中を見せる）となり、行動することであると考えている。

【議員】職員に対して期待するものを伺う。

【町長】既成概念に捉われないこと、失敗しても良いから常に新たな第一歩を踏み出すことを期待している。

挨拶の徹底、接客の対応もあるが、コスト意識を持って、仕事のできない理由を言う前に、どうしたらできるかを考えることができる職員に期待している。



**点検**

【議員】集落点検の結果を受けて政策事業があると思えば、どのような構想で想定されているのかを伺う。

【町長】県内では、東彼杵のみが集落点検に取り組み、人口減少について研究する第一人者とされる熊本大学名誉教授・徳野氏に、中尾、遠目、飯盛、金谷、西宿地区に直接集落に入って点検を実施した。

人口減少対策は、まちづくりであり、最終的には、その地域で考えながら、人材育成ができればと思っている。

点検した中で、お茶の不景気によって、後継者が生活できない等の理由で、若者が町を出て行く不安がある地区は、中尾地区が一番厳しいと指摘されている。

集落点検後の報告に期待しています。

【議員】集落点検報告に期待されていますが、我が町の「まちづくり」は、既に町内各地域、グループ等で取り組まれ成果も出ている。

平成27年度・平成28年度の2年間で、集落点検に約800万円の貴重な税金が使われた。

来年度も継続して集落点検をする必要があるのか、まったく理解できない。

集落点検を継続することで、町民へ何を期待しているのかを伺う。

【町長】きっかけは、本を読んで感動した。費用は、800万円、あるいは1000万円使った良いと思っている。成果が出るか、出ないかは、「かけ」（賭け）であり、住民がどう考えるかである。

「まちづくり」に関して若者の関心はあるが、高齢者、女性、まったく関心がない。

従って、「まちづくり」の機運を、町民全体で盛り上げるためには、来年度も継続して人材育成に取り組みたい。

どのように動いて、結果どうなっているか、今後の方針と方向性と目標を伺う。

【町長】専門的な知識によって、家族単位や地域内での密接な繋がりを客観的に把握して分析し、将来的な地域の課題を克服するために、長期的な行政施策に反映させるものである。

すなわち、集落から他出した人を含めた家族構成の点検で、地域の実態を把握することで、地域の課題（問題点）を解決する組織が形成されることを期待しているので、来年度も継続する。



## まちづくり支援交付金等審査特別委員会報告書概要

まちづくり支援交付金に疑義が生じたため、全議員賛同の下、審査特別委員会が設置されました。27年度、28年度交付された34件の事業団体について審査を致しました。

「慎重な調査の結果、11の団体に問題ありとされ、補助金の返還や認定の取消を検討されたい」旨の報告書が提出されました。

指摘された主な事項は、補助金の不正受給の疑い、条例、規則、交付要綱等の違反、構成員の名義貸し、補助金の目的外使用、利益相反行為の疑い、事業に必要性が疑われる買い物、交付金で購入した機械等の有料貸し出し、同じ耕作地での複数事業、売上金及び寄付金等の未処理等である。

## まちづくり支援交付金に係る執行部の厳正なる役割を求める決議書が提出される

各事業において不適正なものが発覚したのに伴い地方自治法を基に条例、規則、要綱等を守り適正に執行すべきであり、補助金交付は厳正な指導監視を求めると決議されたものであります。なお、町長の指導監督が不十分であったにも係らず自己の責任について言及されなかったのは残念であるとされました。

決議書に対する賛否表（賛成○、反対×）

| 口木 | 吉永 | 岡田 | 前田 | 橋村 | 立山 | 浪瀬 | 森 | 大石 | 堀 |
|----|----|----|----|----|----|----|---|----|---|
| ○  | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | × | ○  | ○ |

## 反対討論（森、吉永）

決議には賛同するが報告書に事実誤認があり、これについて訂正や謝罪がない。監査委員の報告を無視している。決議内容と発議者の答弁に差異がある。これでは反対せざるを得ない。

## 賛成討論（大石、橋村）

議会の役割と責任は行政の不適切な事案を調査、監視し是正を求めることもある。特別委員会は全議員から付託され、公金が適正適法に支出されたか、公明正大に使われたかを調査するものであり、まちづくり団体やそれに係る人達を否定するものではない。しかし、町長は問題点を指摘されたにも係らず区長会配布資料に「調査いたしました問題ありませんでした」と報告されている。これでは決議書は当然である。

## 条例制定・一部改正 可決

## ○ 東彼杵町食育推進会議設置条例

食育基本法（平成17年法律第63号）第33条の規定により、食育に関する推進会議を設置し、町の責務を明らかにするため本条例を制定するもの。

## ○ 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

食育推進会議設置に伴い、標記条例について所要の改正を行う必要があるため。  
（食育推進会議委員 → 日額 5,400円）

## ○ 東彼杵町福祉医療費の支給に関する条例の一部改正

子ども医療費助成について、平成29年4月1日以後の診療分に係る医療費から、対象を中学生まで拡大することに伴い、所要の改正を行う必要があるため。

## ○ 東彼杵町体育館設置及び使用条例の一部改正

旧大楠小学校及び旧音琴小学校の体育館を、住民の福祉の増進を目的として、町民の利用に広く供するため、条例の一部を改正する必要があるため。

## ○ 東彼杵町町民運動場の設置及び管理に関する条例の一部改正

旧大楠・音琴小学校の運動場を、住民の福祉の増進を目的として、町民の利用に広く供するため。

## ○ 職員の育児休業等に関する条例の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律が一部改正されたため。

## ○ 東彼杵町特定個人情報保護条例等の一部改正

個人情報の保護に関する法律および行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律が施行されたため。

## ○ 長崎県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少について

平成29年3月31日をもって南高北部環境衛生組合が解散することに伴い、長崎県市町村事務組合の共同処理する団体に変更が生じたため。

## ○ 長崎県市町村行政不服審査会を共同設置する地方公共団体の数の減少について

平成29年3月31日をもって南高北部環境衛生組合が解散することに伴い、長崎県市町村行政不服審査会を共同設置する団体に変更が生じたため。



旧音琴小学校体育館



旧大楠小学校体育館

# 議会活動報告

## 総務厚生常任委員会

### 保育の状況並びに保育に関わる問題点について

認定こども園つばさは、幼稚園と保育所の両方の良さを持つ幼保連携型の認可施設です。定員210名で1号保育（教育）120名、2・3号保育90名で、その内約100名が大村からの通園であり、特別支援児4名も受け入れられている。外国人を招いての英語教育と共に、異文化を知るための目的として、0～3歳児は週1回、年中以上は週2回実施し、体操教室も週1回と課外でも時間を設け実施されている。

職員は47名で、その内35名が教員で教諭免許と保育士資格の両方をほとんど取得されている。

学童保育わくわくはうすは、平成11年に開設され東彼杵町農村環境改善センターの1階を間借りして運営されている。約40名の児童の内1・2年生の利用が多く、指導員4名で3名が長時間受け持たされている。自由な遊びの中でも事故が無いように指導しながらの保育と、宿題等も勉学の習慣をつけるため、学校、家庭との兼ね合いを考えながら指導されている。

学童保育にここはうすは、平成9年に開設され、平成21年度に子育て支援すくすくねんねと共にNPO法人に認定を受け、現在、登録人数が約80名で常時約40名の利用があっている。

平成29年度は募集をかけ面談中とのことで、小学校を統合した事により50名を超す希望者が予想されている。職員は、パートを入れて10人でローテーションを組みながら運営されている。



認定こども園つばさ

## 産業建設文教常任委員会

### 平成28年度建設課所管事業のうち主な未完成工事の現地調査

中尾本線改良工事（2工区）：旧大楠小学校下～二ノ瀬橋、国庫補助事業、補助率65%、工事費31,741千円、進捗率60%、3月末完成予定。

大野原演習場周辺障害防止対策事業：補助率100%で主な事業内容は山頭池に隣接して、沈砂池2基と排水溝143mの造成と四川内池の堤体改修である。2月10日、九州防衛局からの交付額決定を受けて3月に工事発注の予定。工事実施に当たっては、溜池関係者と調整を図りながら施工を進めるとの事。

遠目中央線改良工事（その10）：遠目中央線改良工事の最終工区で工事費17,338千円、進捗率50%、完成予定3月末。

木場本線改良工事（その10）：本年度の工事費は、22,356千円で橋面、車道、歩道の舗装及びガードレールの設置などが主な工事で、3月20日完成予定。

尚、木場本線改良工事は当初、国庫補助事業として平成10年から開始されたが、平成24年からは町単事業（国、県の補助金がない）となり、歴代3人の町長の下今年度までに総額約9億が費やされ、完成までには地盤改良などの特殊工事も残っており、経費も大きく、期間も要するとの事である。



木場本線視察